

Face

千田 沙綺さん (18歳)
 熊谷 綸さん (18歳)
 富樫 愛夏さん (18歳)
 高橋 陽愛さん (18歳)

岩手県立金ケ崎高等学校3年。様々なジャンルから自身の学びたい内容を探求する「総合的な探究の時間」で看護分野を選択。中でもAEDに着目し、広める活動を行っている。町内外の幼稚園・保育園・小学校の17施設へ本を寄贈。10施設で読み聞かせを実施。2月に岩手県の地域サミット特別賞を受賞した。

知っていれば助けられる命があるかもしれない



自主制作した絵本は大人にも学びがあり、子どもと一緒に使い方を覚えてほしいですと語ってくれた生徒の皆さん(写真右から名前順)

「AED(自動体外式除細動器)の存在や使い方を多くの人達に知ってもらい、もしもの時に備えられる環境を広めていきたい」と話す4人。千田沙綺さん、熊谷綸さん、富樫愛夏さん、高橋陽愛さんは、金ケ崎図書館や町内の保育園・小学校へ「総合的な探究の時間」の集大成として自主制作した絵本『カタヒロくん & AED』を寄贈した。

授業で看護分野を選択した4人は、AEDについて探究。身近な場所にあるAEDの調査や使いやすい環境を整えるために医療機関や大学などへ調査を実施のほか、普通救命講習を受講し資格を取得した。

これまでの探究で学んだことを形にしようと、町内在住のイラストレーター小原あきおさんと共同で絵本を制作。絵本のセリフや構成は金高生徒、編集やイラストは小原さんがそれぞれ担当した。費用は4人の活動を聞いた金高の同窓会が出資し、30冊限定で制作して昨年8月に発行。多くの人たちに興味関心を持ってもらおうと、絵本の読み聞かせを行っている。好評であったことから増刷を予定しており、資金はクラウドファンディングを活用することを検討している。

図書館を訪れた沙綺さんと愛夏さんの2人は、「小さな子でもわかりやすく、大人にも学びがあるように作った。AEDという存在を知っているだけでも救える命があり、多くの人たちに関心を持ってもらいたい」と話す。制作した4人はそれぞれ進学し、看護や食品管理の分野を専攻する。

広報日記



2月は要害雛祭り取材。各地で華やかな雛飾りと楽しそうに観覧する来場者で、まちが盛り上がりました。春の訪れを感じています。

令和7年度は、金ケ崎町新町誕生70周年を含め、様々な行事を取材させていただきました。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。(千葉)

◆金ケ崎町公式情報アプリ 「かねがさきInfo」



Android用



iPhone用

人口と世帯		2月28日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,034人	(△44)	
男	7,770人	(△20)	
女	7,264人	(△24)	
世帯数	6,655世帯	(△19)	